

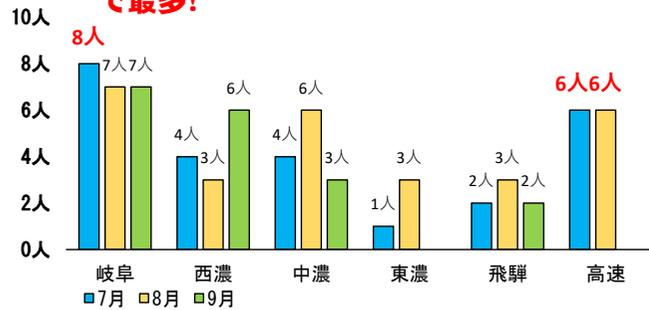
# 7～9月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R2～R6）の死亡事故データから見る ～

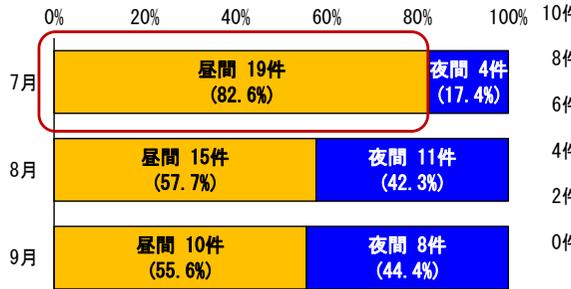
7～9月の死者数は、四半期で比較すると年間で2番目に多い。7月は昼間の事故が8割以上占め、特に12時～16時の事故が多く、8月と9月は16時～20時に事故が多く、8月以降は夜間の事故が増加している。7月と8月の高速道路が事故が年間で最も多いほか、7月は国道、8月は主要地方道、9月は市町村道での事故が多い。また、信号機のない交差点の事故や単路での事故が多い。

《7月》死者25人 時間帯では12時～16時に事故が集中し、国道及び高速道路での事故が多い。単路での事故が多く漫然運転による事故が多い。  
 《8月》死者28人 高速道路や主要地方道での事故が多く、単独事故が多い。最高速度、歩行者妨害及び飲酒関係事故等の悪質違反の事故が多い。  
 《9月》死者18人 時間帯では16時～20時に事故が集中し、市町村道での事故が多い。また、若年運転者による事故が多い。

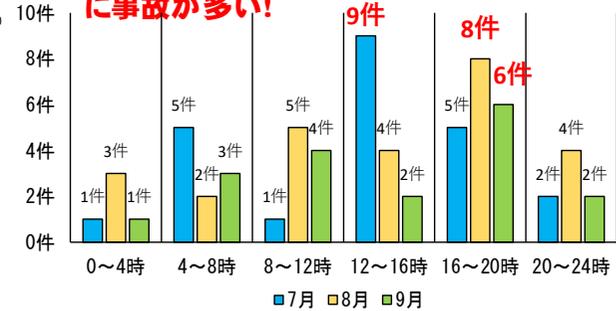
## 7月・8月に高速の交通事故死者が年間で最多!



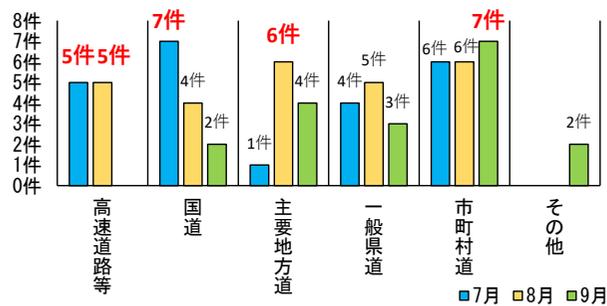
## 7月は昼間の事故に注意!



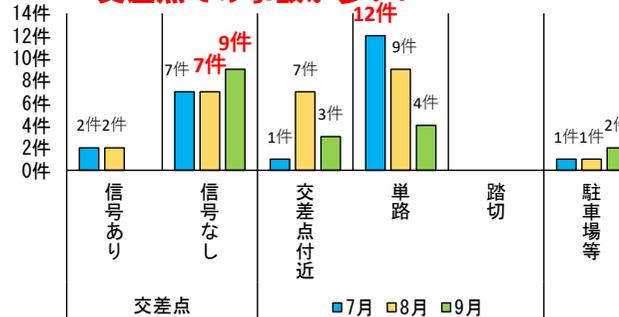
## 7月は12～16時、8月・9月は16時～20時に事故が多い!



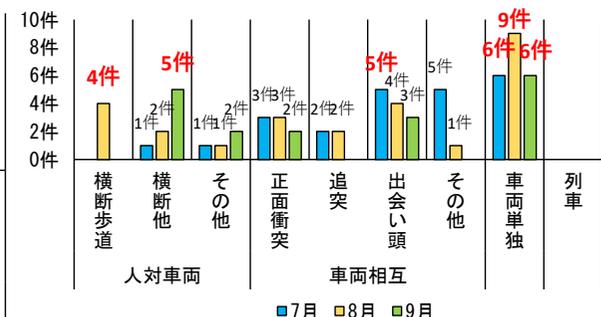
## 7月・8月は高速道路での事故が最多!



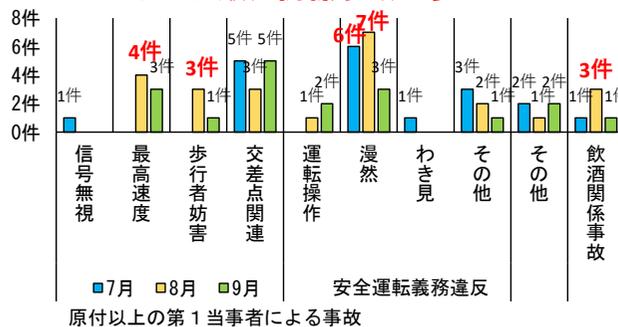
## 7月は単路、8月・9月は信号のない交差点での事故が多い!



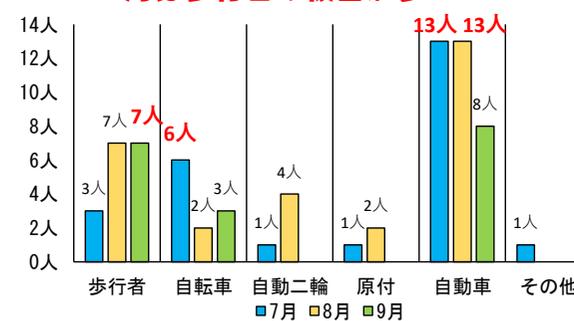
## 車両単独事故が多い!



## 8月は最高速度、歩行者妨害による事故のほか、飲酒関係事故が多い!



## 7月・8月は自動車乗車中、9月は歩行者の被害が多い!



## 7月は50代、9月は若年運転者の事故が多い!

